

資料2-1

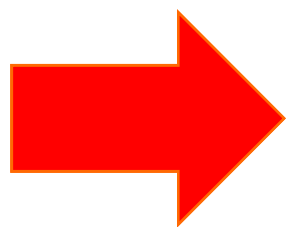
岸和田市のまちづくりのルール

岸和田市自治基本条例

企画調整部企画課

自治基本条例を作った背景

- ①平成12年4月に地方分権一括法が施行
(国と地方は対等関係、協力関係になる)
- ②平成14年に市政施行80周年、同年新たに「特例市」としてのスタート
- ③「市民自治都市の実現」を目指して新しいまちづくり
(第3次総合計画)
- ④市民と市政の情報共有、協働のルールを独自に定めて
共通の指針とするための条例が必要となった。



この(まちづくりの)ルールが

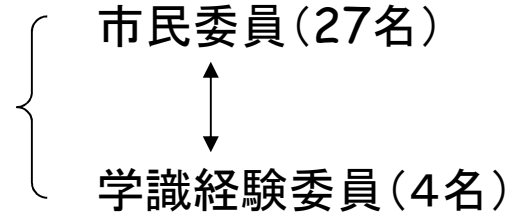
自治基本条例



自治基本条例の策定方法

○行政主導ではなく、市民委員が中心となり一から(素案の段階から)条例案づくりを行なった。

策定委員会
全40回



○条例策定当初から、市議会にも常に情報提供し、市民、市役所、市議会の3者が一体となって条例づくりを進めた。

